

# U18 審判員研修会 参加報告

茨城県サッカー協会  
3 級審判員 田代久峨

- 1 大会名 JFA 第 47 回全日本 U-12 サッカー選手権大会
- 2 開催地 鹿児島県/鹿児島ふれあいスポーツランド・鴨池補助競技場・白波スタジアム
- 3 開催期間 2023 年 12 月 26 日（火）～ 12 月 29 日（金）
- 4 研修所見

## (1) 大会前研修・打合せ【12 月 25 日（月）午後】

- ・全国からユース審判員 32 名が集まりました。初めに自己紹介を行い高校 3 年生、2 年生が多かったですが、自分と同じ高校 1 年生も 3 名いました。
- ・選手との交流のために行われたリスペクトワークショップが行われ、選手とコミュニケーションをとることができ信頼関係を深めることができました。
- ・夜は大会情報や競技規則の確認を行い、翌日からの審判活動に向けての準備を行いました。

## (2) 研修で学んだこと、感じたこと

- ・1 試合目 就将 SC（鳥取県）vs FCヴォルティエーダ沖縄（沖縄県）  
環境がこれまでの活動と大きく変わり、今まで体感したことのない会場の雰囲気に見舞われた中、緊張しながら試合に臨みました。最初の試合ということもあり、動きが硬くなりいつもとおりのレフェリングができずに終わる結果となってしまいました。  
試合後の振り返りでは、インストラクターの方よりポジショニングについてのアドバイスをいただきました。
- ・2 試合目 札幌ジュニア FC（北海道）vs 津田 FC（三重県）  
大会の雰囲気にも慣れ、1 試合目でインストラクターの方からのポジショニングについてのアドバイスを意識することにより、正しいルールの適用を行うことができた。この試合でポジショニングがいいと説得力も上がりミスジャッジが減るということに改めて感じました。
- ・3 試合目 センアーノ神戸（兵庫県）vs ミルマエ FC（岩手県）  
選手がフェアプレイをできるように意識し試合をコントロールすることでグリーンカードを提示することができました。その要因としては、試合直前に選手とのコミュニケーションをとることにより、選手の印象も変わってゲームコントロールがよりしやすくなると感じました。またインストラクターの方より「角度やポジショニングが一日目よりものすごく良くなった。」との言葉をいただくことができました。そしてこの日の夜に決勝トーナメントの試合を担当するか敗者同士のフレンドリーマッチを担当するかのミーティングで残念ながら決勝トーナメントの担当には選ばれませんでした。今後の審判活動に大きな刺激と素晴らしい経験を積むことができました。

- 4 試合目 マクドナルドマッチ

自分にとってのラストゲームはチャレンジを多くすることができました。

二日間でアドバイス（指導）をいただいた「ポジショニング」「角度」について自分で振り返りながら工夫しやりきった感が有りました。

三日目ということもあり体力的な限界がきていましたが、自分なりにたくさん走り、最後をいい形で締めくくることができました。

- 終わりに、この研修会でインストラクターの方からいただいたアドバイスをこれからの審判活動にいかしていこうと思います。

